



枝豆と豆腐と白はんぺんのふんわり揚げ



<材料> (4人分)

むき枝豆・・・50g

木綿豆腐・・・・350g

白はんぺん・・・1枚(100g)

玉ねぎ・・・・1/2個

卵・・・・・1個

サラダ油・・・適宜

小麦粉又は片栗粉・・大さじ3

<作り方>

- ① 枝豆は茹で、玉ねぎはみじん切りし、豆腐は水切りしておきます。
- ②ボウルに白はんぺんを入れて手でつぶします。
- ③ ②に豆腐を加えて一緒につぶしながら混ぜます。
- ④ ③に玉ねぎと枝豆と卵を加えよく混ぜ、小麦粉または片栗粉を加えてさらに混ぜます。
- ⑤ ④を食べやすい大きさに丸め160~170℃の油 でじっくりと揚げ、器に盛ります。

一枝豆の栄養と効能と選び方ー

枝豆は数分間塩茹でするだけでほどよい塩味と甘味が美味しい、ホックホックの夏に定番の"おつまみ"となります。

"さや"が密集し産毛がびっしりとついていて、触ると痛いくらいが新鮮で "さや"がぷっくりとふくれていると、なかの豆も大きく味も良いです。

茹でたてをすぐにざるにあげ広げて、うちわで扇ぎ、手早く冷ますことで、 きれいな緑色が保てます。

たくさん茹でて一度に食べ切れない時は、しっかり冷ましてから袋に入れて冷蔵庫で保存し、2~3日くらいで食べきるようにします。

枝豆は大豆の未熟な部分の豆のことで、完熟すると"畑の肉"と呼ばれる 大豆となるため良質なタンパク質が豊富に含まれています。

タンパク質のほかにビタミンB群やカリウムなどのミネラルも豊富なので 豆類と野菜類両方の栄養成分をあわせもつ身体に嬉しい食材です。

肝臓でアルコールの分解に欠かせないメチオニンも多いので大人には、 夏にビールの最高のパートナーとなりますし、子供にも、栄養豊富なおやつ になります。

薬膳においてもエネルギーである気を補う "補気" と胃腸の働き高めて水のめぐりよくしてくれる"健脾" と、体内の余分な水分の排出の"利湿"の効果が期待できます。



えだ豆ともやしのナムル

エネルギー 65kcal たんぱく質 4.1g 糖質 1.3g 食物繊維 2.3g 食塩相当量 0.3g

<材料> (4人分)

むき枝豆・・ ・ 5 0 g

もやし・・・・1袋

塩昆布・・・ ・ 5 g

「ごま油・・・・ 大さじ1/2 A すりごま・・・・ 大さじ1

にんにくチューブ・小さじ1



<作り方>

- ①もやしを洗って、たっぷりのお湯で茹で、ザルにあけ水を切ります。
- ② ボウルに①と枝豆と塩昆布とAをいれてよく混ぜ 器に盛ります。



おやつにも 朝食にも

(1/8切の場合)

えだ豆ホットケーキ

エネルギー 145kcal たんぱく質 5.2g 糖質 19g 食物繊維 0.7g

食塩相当量 0.6g



<材料>(作りやすい分量)

むき枝豆・・・・ 5 0 g

魚肉ソーセージ・・・1本

ホットケーキミックス・・180g

(1袋)

バター・・・・・20g

牛乳・・・・・ 1 5 0 m l

卵・・・・・・1個

<作り方>

- ① 魚肉ソーセージは1 c m くらいに切っておきます。
- ②ボウルに牛乳と卵を入れよく混ぜ、溶かしバターを加えてさらに混ぜます。
- ③ ②にホットケーキミックスを加えてダマがないようによく混ぜます。
- ④ ③に①とえだ豆を加えさらに混ぜ型に入れ、180℃に予熱したオーブンで35分くらい焼きます。(フライパンで焼いてもOKです。)
- ⑤ お好みの大きさに切って、皿に盛ります。

産科でおつくりしている

夏の薬膳弁当の献立

- 枝豆と牛姜のご飯
- ・そば
- オクラとトマトの煮浸し
- ズッキー二と帆立のサラダ
- 穴子のだし巻き卵
- 茄子と海老のマリネ
- 冷しゃぶ黒酢梅肉ソース
- とうもろこしとくるみの白 和え
- ゴーヤのフリット
- 冬瓜と大麦団子のスープ
- ・フルーツ



(一人当たり)

食塩相当量

2.0g

食物繊維

1.5g

糖質

78.2g

枝豆と生姜のご飯



<材料> (2~3人分)

たんぱく質

8.2g

エネルギー

370kcal

むき枝豆・・・50g

生姜・・・・・1かけ

米・・・・・2合

塩・・・・・小さじ1

酒・・・・・大さじ1

<作り方>

- ①お米は研いでおきます。
- ②生姜はスライスして千切りします。
- ③炊飯器にお米と分量の水と枝豆、塩、酒を入れて普通に炊きます。
- ④炊き上がったら生姜を加えて、しゃもじで切るように混ぜ茶碗に盛ります。